

臨床研究の実施に関する情報公開

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	再発卵巣癌に対する PARP 阻害薬の有効性に関する後方視的研究
研究機関名	京都大学医学部附属病院
研究責任者	梅宮慎樹
研究期間	2018 年 4 月 ～ 2029 年 12 月
対象者	2018 年 5 月より 2024 年 12 月までに研究施設で再発卵巣癌に対して PARP 阻害薬（オラパリブ、ニラパリブ）を使用した患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	PARP 阻害薬は、オラパリブは 2018 年、ニラパリブは 2020 年に国内で使用開始された卵巣癌に対する新しい治療薬ですが、患者さんによって効果に差があります。今回、PARP 阻害薬を使用した患者さんの検査結果、治療歴、予後などの検討を行うことで、PARP 阻害薬が有効な患者さんを適切に抽出することを目的とします。
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>①対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子（年齢など） ・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果、採血結果など） ・転帰（再発の有無など） ・副作用 <p>②各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行います。収集した情報を記載した調査票にはこの識別番号を用います。患者さんとこの番号を結び付ける対応表は、当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。</p> <p>③共同研究機関へ提供します。提供先と提供方法は以下の通りです。</p> <p><提供先> 京都大学医学部附属病院、近畿大学医学部附属病院、大津赤十字病院、滋賀県立総合病院、長浜赤十字病院、独立行政法人国立病院機構 京都医療センター、京都桂病院、公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院、独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター、大阪赤十字病院、大阪府済生会 野江病院、神戸市立医療センター 中央市民病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、公立豊岡病院組合 豊岡病院、公益財団法人 天理よろづ相談所病院、日本赤十字社 和歌山医療センター、公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、高松赤十字病院</p> <p><提供方法> 電子的配信</p>

個人情報の開示に係る手続き	個人情報開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
研究代表施設・代表者	京都大学医学部附属病院 産婦人科教授 万代昌紀
研究組織	<p>京都大学医学部附属病院 教授 万代昌紀 近畿大学医学部附属病院 教授 松村謙臣 大津赤十字病院 総合周産期母子医療センター部長 藤田浩平 滋賀県立総合病院 婦人科部長 高尾由美 長浜赤十字病院 産科部長兼婦人科部長 中島正敬 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 産婦人科部長 安彦郁 京都 桂病院 産婦人科部長 芦原隆仁 公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 産婦人科部長 堀江昭史 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 産婦人科部長 巽啓二 大阪赤十字病院 産婦人科主任部長 岩見州一郎 大阪府済生会 野江病院 産婦人科部長 金本巨万 神戸市立医療センター 中央市民病院 産婦人科部長 青木卓哉 兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科部長 角井和代 公立豊岡病院組合 豊岡病院 産婦人科部長 松原慕慶 公益財団法人 天理よろづ相談所病院 産婦人科部長 住友理浩 日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長 吉田隆昭 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 産婦人科部長 福原健 高松赤十字病院 産婦人科部長 原田龍介</p>
間合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>京都大学医学部附属病院 梅宮慎樹 代表 075-751-3111</p>